

「まちづくりについて」(令和5年10月6日～10月16日実施)

送付数:1,383人

回答数:613人

回答率:44.3%

担当課:都市計画課(電話086-426-3455)

【アンケートの目的】

倉敷市が目指す「災害に強いまち」「暮らしやすくにぎわいのあるまち」の実現と、それに伴う「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めていくため、現在の日常生活のスタイルや、将来のまちづくりについてお考えを伺いました。

※「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくり…生活に必要な医療・福祉・商業などの施設が、なるべくより安全な「まちなか」にまとまって立地し、多くの市民が徒歩や公共交通により、これらの施設にアクセスできるまちづくりのこと

【担当者のコメント】

●「あなたが住みたいと望む場所」として、7割強の方が「生活に身近な商店等やバス停が近くにある『公共交通の沿線での暮らし』」または「拠点や駅周辺まで徒歩や自転車で行ける『まちなかでの暮らし』」を選択されています。このことから、公共交通沿線や徒歩、自転車での便利な暮らし等への関心の高さがうかがえました。

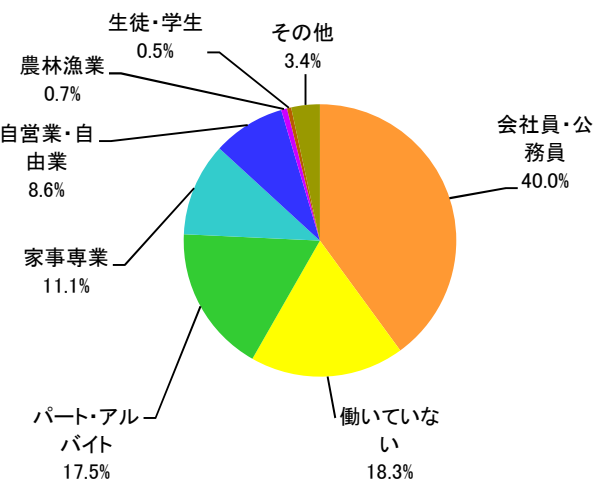
●また、「まちなかでコンパクトなまちづくりを進める際に重視すべきこと」として、日常生活に必要な身近な買い物環境や病院などサービス機能の充実を求められる方が多いことが分かりました(7割強の方が選択)。

●その他、コンパクトなまちづくりについて多くの意見をいただきまして、ありがとうございました。皆さまからいただいたご意見をもとに、「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

問1 ご職業は？

選択肢 回答者数 有効回答者数 613人

会社員・公務員	245人
働いていない	112人
パート・アルバイト	107人
家事専業	68人
自営業・自由業	53人
農林漁業	4人
生徒・学生	3人
その他	21人



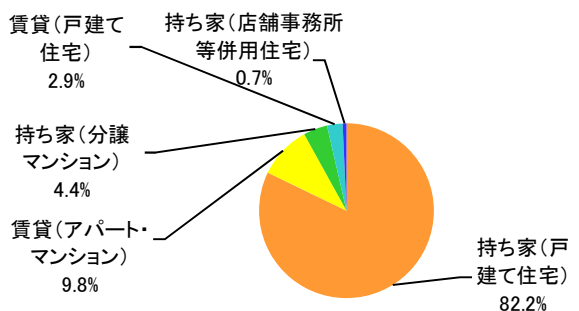
その他(抜粋)

・年金生活者 など

問2 住んでいる住宅は？

選択肢 回答者数 有効回答者数 613人

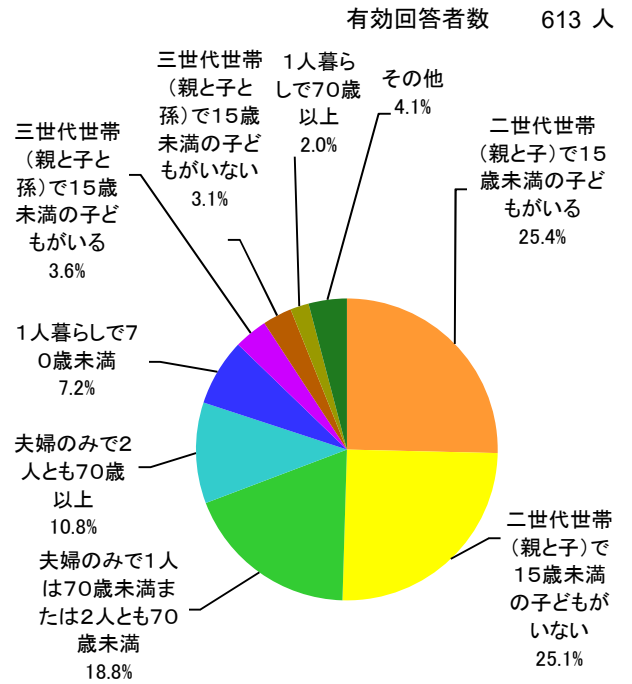
持ち家(戸建て住宅)	504人
賃貸(アパート・マンション)	60人
持ち家(分譲マンション)	27人
賃貸(戸建て住宅)	18人
持ち家(店舗事務所等併用住宅)	4人



「まちづくりについて」(令和5年10月6日～10月16日実施)

問3 同居されている世帯の構成は？

選択肢	回答者数
二世帯世帯(親と子)で15歳未満の子どもがいる	156 人
二世帯世帯(親と子)で15歳未満の子どもがいない	154 人
夫婦のみで1人は70歳未満または2人とも70歳未満	115 人
夫婦のみで2人とも70歳以上	66 人
1人暮らしで70歳未満	44 人
三世帯世帯(親と子と孫)で15歳未満の子どもがいる	22 人
三世帯世帯(親と子と孫)で15歳未満の子どもがいない	19 人
1人暮らしで70歳以上	12 人
その他	25 人

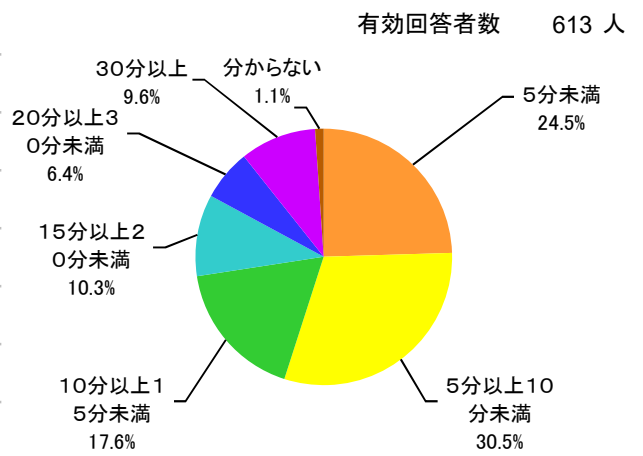


その他(抜粋)

- ・ 四世代世帯、祖父母と孫 など

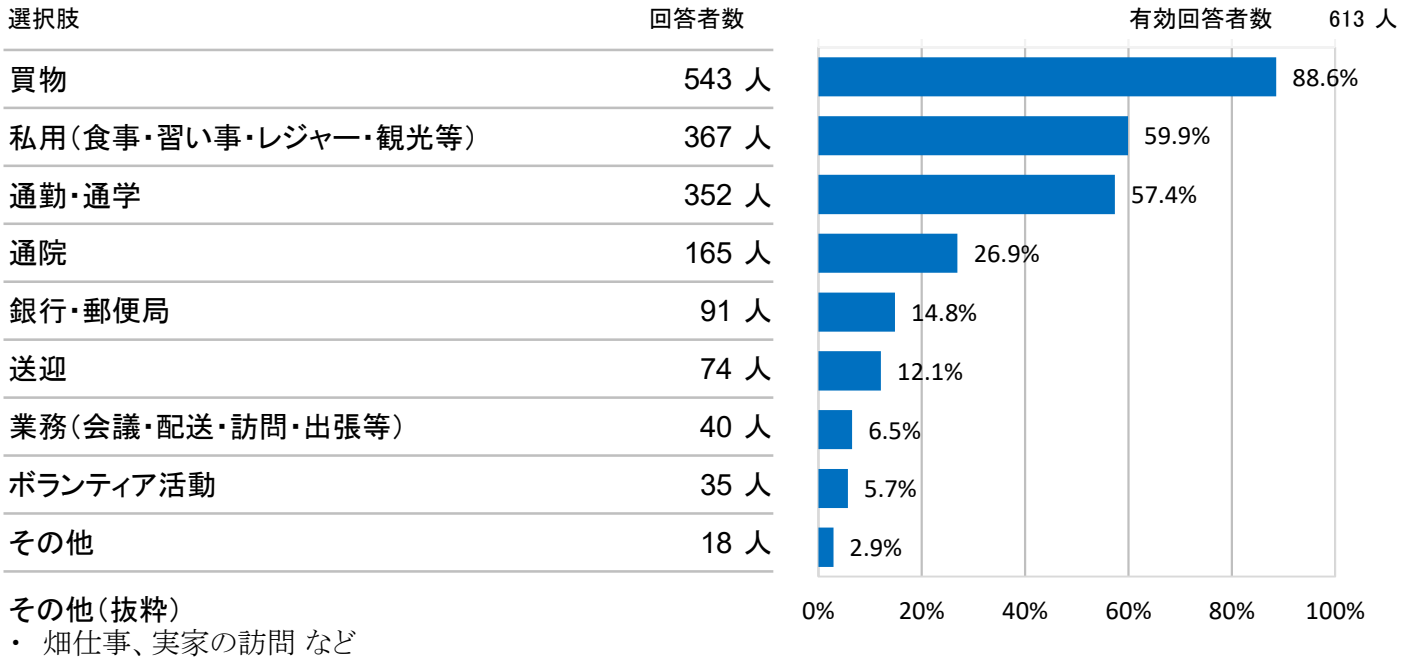
問4 お住まいから最寄りの駅やバス停まで、歩いて何分かかりますか？

選択肢	回答者数
5分未満	150 人
5分以上10分未満	187 人
10分以上15分未満	108 人
15分以上20分未満	63 人
20分以上30分未満	39 人
30分以上	59 人
分からない	7 人



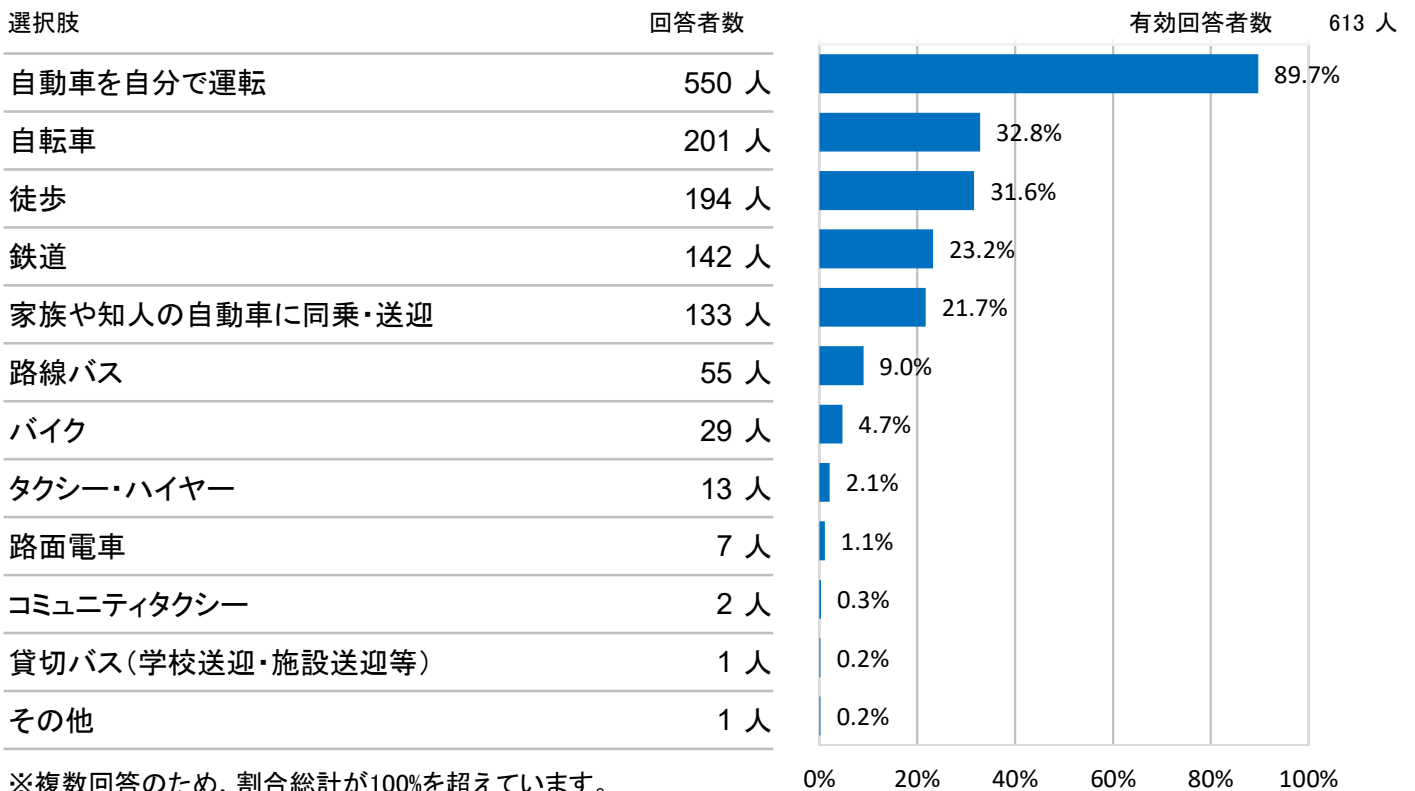
「まちづくりについて」(令和5年10月6日～10月16日実施)

問5 主な外出目的は？(3つまで回答可)



※複数回答のため、割合総計が100%を超えています。

問6 主な外出手段は？(3つまで回答可)



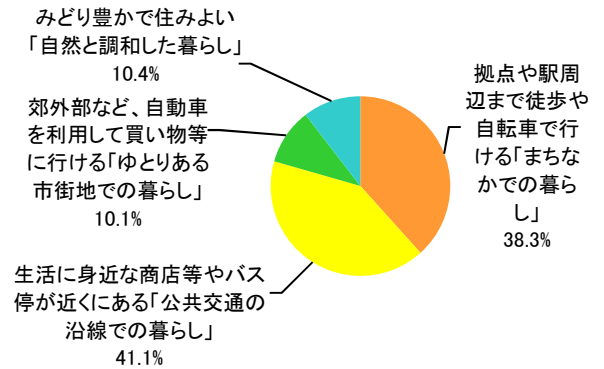
※複数回答のため、割合総計が100%を超えています。

「まちづくりについて」(令和5年10月6日～10月16日実施)

問7 車の運転ができなくなった(または現在運転ができない)場合、今後住みたいと望む場所は？

選択肢	回答者数
拠点や駅周辺まで徒歩や自転車で行ける「まちなかでの暮らし」	235 人
生活に身近な商店等やバス停が近くにある「公共交通の沿線での暮らし」	252 人
郊外部など、自動車を利用して買い物等に行ける「ゆとりある市街地での暮らし」	62 人
みどり豊かで住みよい「自然と調和した暮らし」	64 人

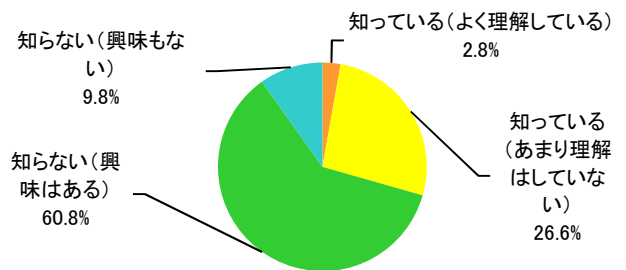
有効回答者数 613 人



問8 倉敷市立地適正化計画のことを知っていますか？

選択肢	回答者数
知っている(よく理解している)	17 人
知っている(あまり理解はしていない)	163 人
知らない(興味はある)	373 人
知らない(興味もない)	60 人

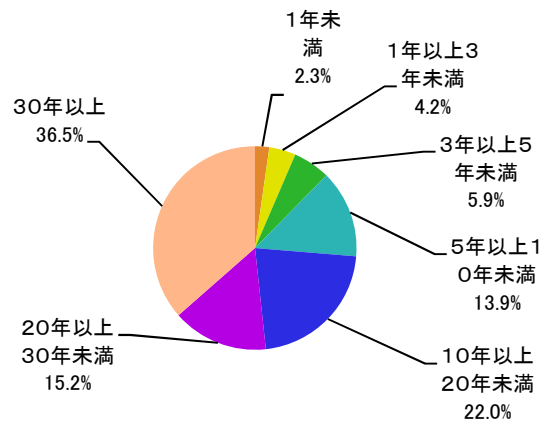
有効回答者数 613 人



問9 現在の住まいに住んで何年になりますか？

選択肢	回答者数
1年未満	14 人
1年以上3年未満	26 人
3年以上5年未満	36 人
5年以上10年未満	85 人
10年以上20年未満	135 人
20年以上30年未満	93 人
30年以上	224 人

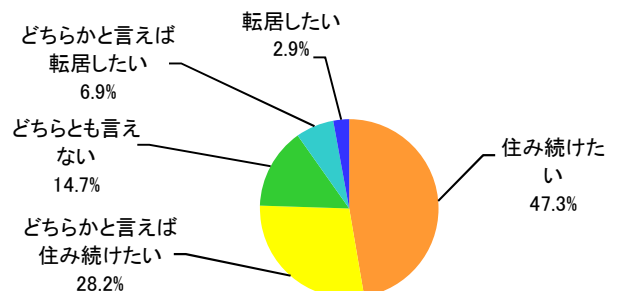
有効回答者数 613 人



問10 現在の住まいに住み続けたいですか？

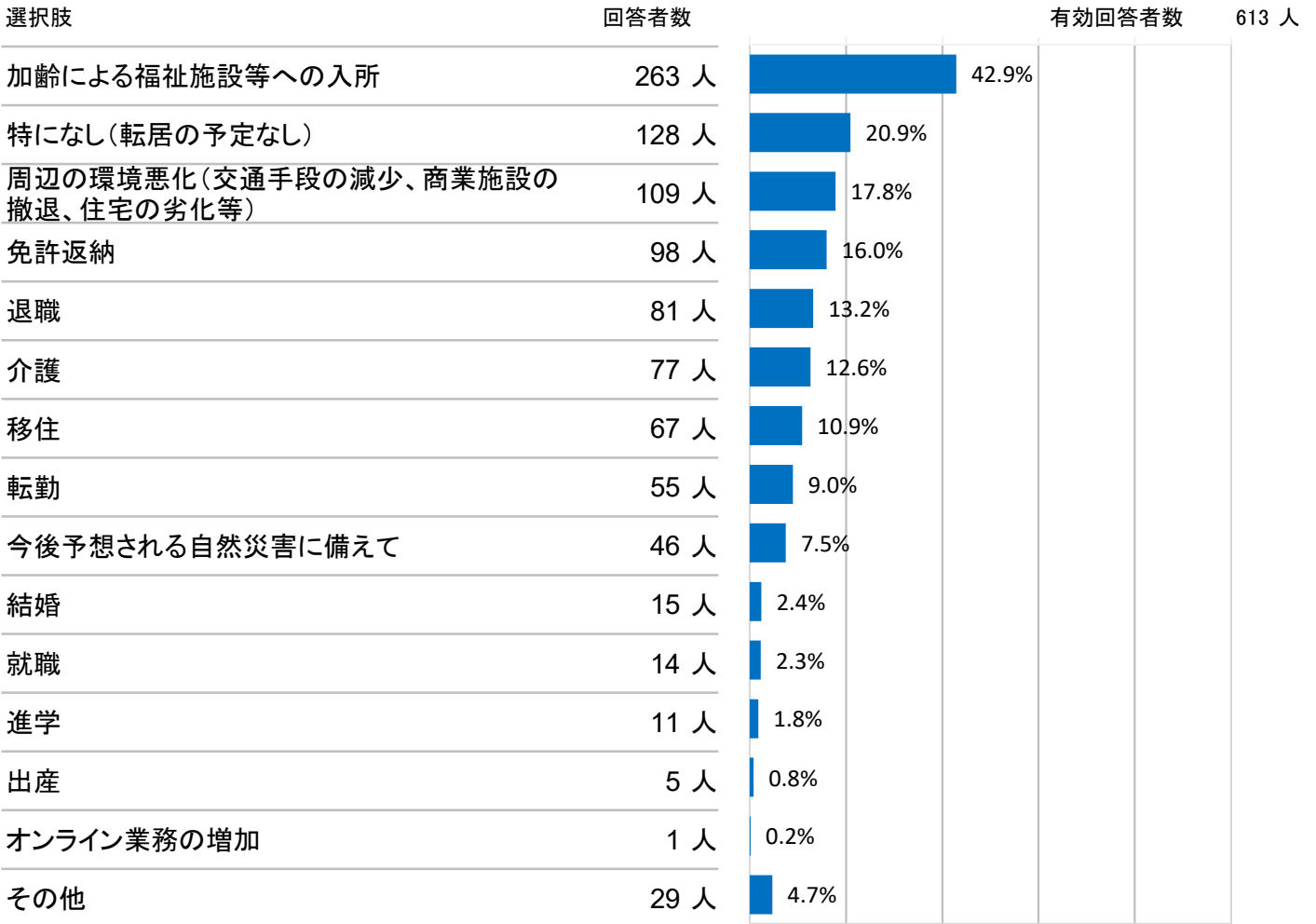
選択肢	回答者数
住み続けたい	290 人
どちらかと言えば住み続けたい	173 人
どちらとも言えない	90 人
どちらかと言えば転居したい	42 人
転居したい	18 人

有効回答者数 613 人



「まちづくりについて」(令和5年10月6日～10月16日実施)

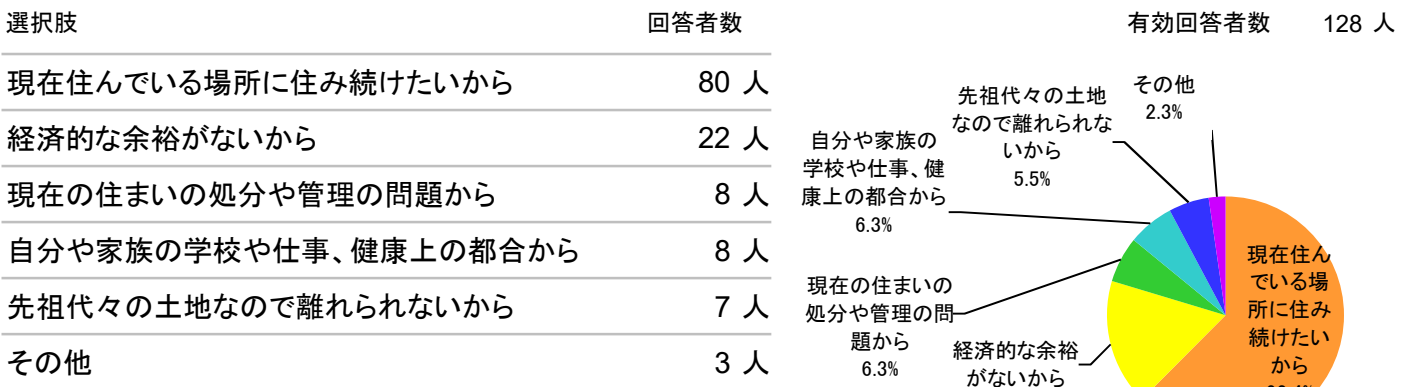
問11 あなた自身が転居するとすれば、どのようなきっかけが考えられますか？(複数回答可)



その他(抜粋)
 ・ 家の購入、実家に戻る、子供と同居 など

※複数回答のため、割合総計が100%を超えています。

問11-1 問11で「特になし(転居の予定なし)」を回答された方へ。最も大きな回答理由は？



その他(抜粋)
 ・ 立地条件が良いから など

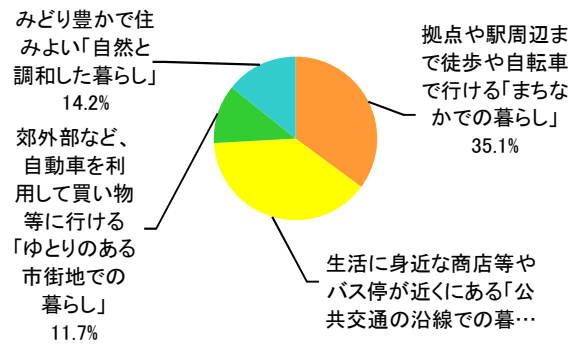
「まちづくりについて」(令和5年10月6日～10月16日実施)

問12 あなたが住みたいと望む場所は？

※現在だけでなく、将来的な暮らしを想像したうえでご回答ください。

選択肢	回答者数
拠点や駅周辺まで徒歩や自転車で行ける「まちなかでの暮らし」	215 人
生活に身近な商店等やバス停が近くにある「公共交通の沿線での暮らし」	239 人
郊外部など、自動車を利用して買い物等に行ける「ゆとりのある市街地での暮らし」	72 人
みどり豊かで住みよい「自然と調和した暮らし」	87 人

有効回答者数 613 人

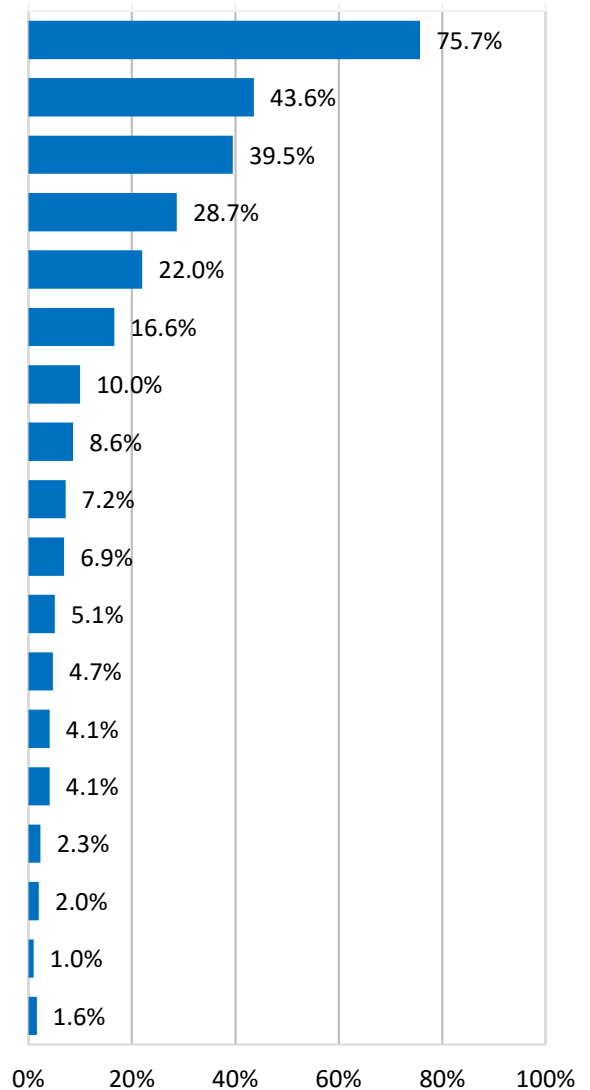


問13 住まいの場所で重視することは？(3つまで回答可)

※現在だけでなく、将来的な暮らしを想像したうえでご回答ください。

選択肢	回答者数
買い物・病院・銀行等生活に身近な施設が近い	464 人
徒歩・自転車で移動しやすい	267 人
鉄道やバスなどの公共交通が便利	242 人
治安が良い	176 人
災害の危険性が少ない	135 人
緑や自然が豊かで環境が良い	102 人
住み慣れている	61 人
子育て・教育環境が良い	53 人
道路の整備が進んでいる	44 人
既に土地・建物を所有している	42 人
子どもや親と同居あるいは近い	31 人
職場が近い	29 人
地域とのつながりがある	25 人
介護福祉サービス施設が近い	25 人
まちの景観・町並みが良い	14 人
住宅取得費や家賃が安い	12 人
人がたくさん住み活気がある	6 人
その他	10 人

有効回答者数 613 人



その他(抜粋)

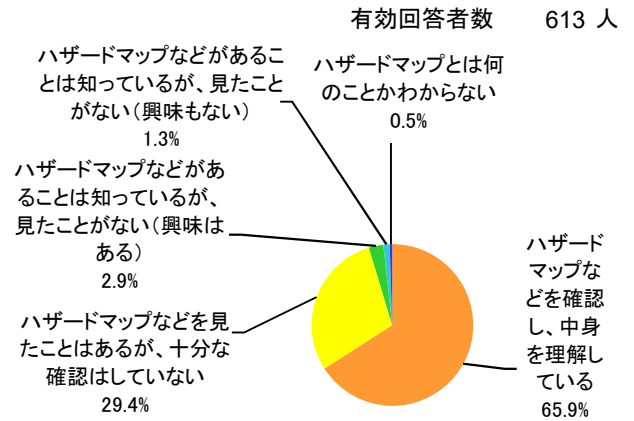
・静かな環境、星がよく見えること など

※複数回答のため、割合総計が100%を超えています。

「まちづくりについて」(令和5年10月6日～10月16日実施)

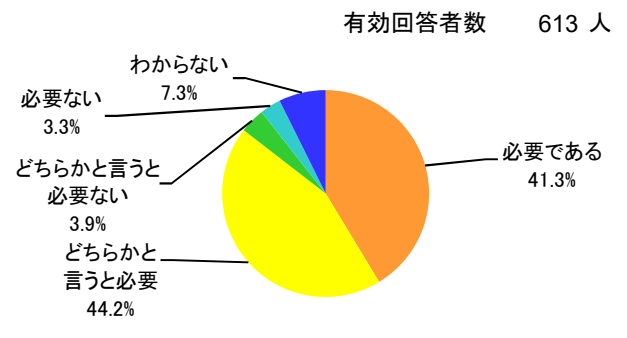
問14 倉敷市が提供しているハザードマップなどで、現在お住まいの場所を確認したことがありますか？

選択肢	回答者数
ハザードマップなどを確認し、中身を理解している	404 人
ハザードマップなどを見たことはあるが、十分な確認はしていない	180 人
ハザードマップなどがあることは知っているが、見たことがない(興味はある)	18 人
ハザードマップなどがあることは知っているが、見たことがない(興味もない)	8 人
ハザードマップとは何のことかわからない	3 人



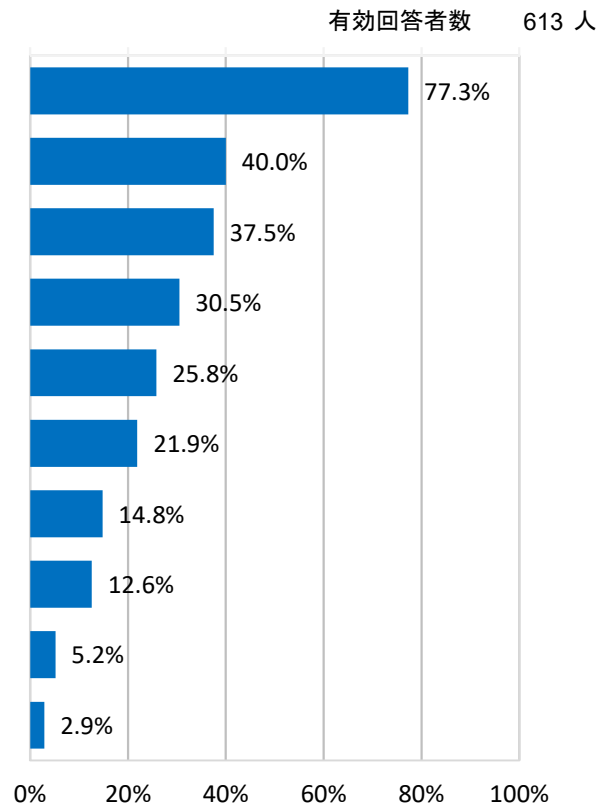
問15 「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めることについて、どのように思いますか？

選択肢	回答者数
必要である	253 人
どちらかと言うと必要	271 人
どちらかと言うと必要ない	24 人
必要ない	20 人
わからない	45 人



問16 まちなかでコンパクトなまちづくりを進める際に、重視すべきことは何だと思えますか？

選択肢	回答者数
日常生活に必要な身近な買い物環境や病院などサービス機能の充実	474 人
駅やバスターミナルなど、中心部への移動に便利な公共交通網の充実	245 人
高齢者や子どもたちが安全に暮らせる介護・子育て機能の充実やバリアフリー環境の整備	230 人
自然災害への対策など、災害に強い市街地環境づくり	187 人
道路・公園や上下水道などの生活インフラの維持・整備	158 人
文化センターや図書館をはじめとする文化・交流機能の集約・充実	134 人
買回り品を購入できる大規模な商業施設や娯楽施設の充実	91 人
空き地や空き家などの有効活用によるまちなか居住の推進	77 人
既存市街地のにぎわいの再生・創出	32 人
その他	18 人



その他(抜粋)

・宅地やマンションを取得しやすいこと など

※問17 自由意見は別ファイルをご覧ください

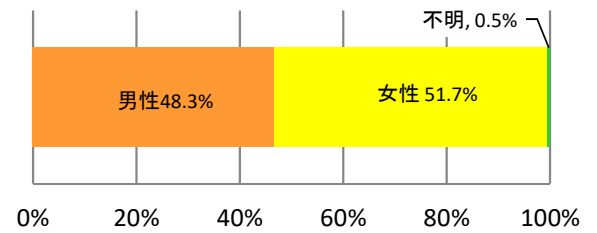
※次ページにモニター属性の内訳あり

「まちづくりについて」(令和5年10月6日～10月16日実施)

モニターの属性(性別)

選択肢	回答者数
男性	286 人
女性	324 人
不明	3 人

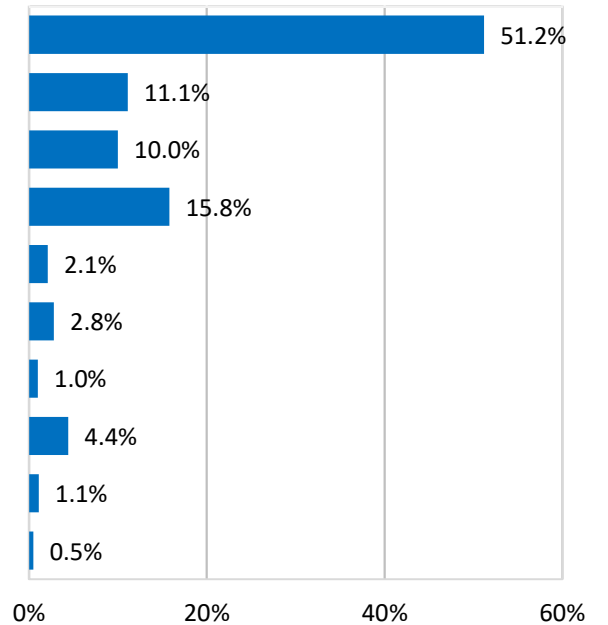
有効回答者数 613 人



モニターの属性(地区)

選択肢	回答者数
倉敷	314 人
児島	68 人
玉島	61 人
水島	97 人
庄	13 人
茶屋町	17 人
船穂	6 人
真備	27 人
市外(在勤)	7 人
不明	3 人

有効回答者数 613 人



モニターの属性(年代)

選択肢	回答者数
90代	2 人
80代	40 人
70代	89 人
60代	112 人
50代	160 人
40代	140 人
30代	52 人
20代	14 人
10代	1 人
不明	3 人

有効回答者数 613 人

